

---

# 空手部の日常

Jemko

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

空手部の日常

### 【Zコード】

Z2157BA

### 【作者名】

Jemko

### 【あらすじ】

空手部シリーズとは、「Babylon Stage 27『誘惑のラビリンス』

第三章『空手部・性の裏技』に登場する、空手部アリオの日常を描いた作品である。

1話完結モノのギャグ小説なので、暇潰しにどうぞ。

## 「めを食べ行への巻（前書き）

大先輩でも分かる、名前の読み方講座。TDKR（田所）、MUR（三浦）、KMR（木村）、？？？（特別ゲスト）

## 「めんを食べに行くの巻」

チャイムくん「キーンゴーンカーンゴーンー（迫真）」

学校屋上

TDKR「MURさん夜中腹減んないですか？」

MUR「減らねーなー」

TDKR「じゃけん、夜ラーメン食いにこきましうね～」

道中

TDKR「ぬわあああんもうつかれたもおおん」

MUR「ちかれた・・・（小声）」

KMR「まだ30mしか歩いてませんよ」

MUR「ラーメン屋までどのくらいかかるんだ？」

TDKR「3時間くらい（適当）」

MUR「おっ、そうか」

数分後

MUR「おいTDKRオー全然つかないじゃねーか（憤怒）」

TDKR「あれーおつかしいなー」

KMR「先輩、もしかして道に迷つたんですか？」

TDKR「ま、多少はね？」

数分後

MUR「もうすっげーつかれたゾー」

KMR「諦めて帰りましょうよ」

TDKR「なんだよ2人ともだらしなえなー」

MUR KMR「・・・（マジギレ）」

MUR「おいKMRア、羽交い絞めにしむ」

KMR「は」

??.?「（なにやつてんだあこいつひへ）俺も仲間ここれで」

キキー！・ジンドー・（迫真）

??.?「誰か轢こづけひつたよ、やべえよせんよじつある・・・？」

TDKR「えつ？・えつ？・MUR、MURを勘弁してくだりこよ

ー」

MUR「じゃあ（腹）ぶしき込んでやるぜー（震え声）」

TDKR「ンアツー・」

TDKRはMURにボコボコされて終了

## メダリンクをするの巻

TDKR「うちさあ、メダリンクあるんだけじゃってかない？」

MUR「やりてーなー」

TDKR「じゃけん、後で家に寄りましょーね～」

野獣邸

TDKR「あがつて、どうだ」

MUR KMR「お邪魔しまーす」

TDKR「飲み物持つてくるから、適当に座つてまつてて」

KMR「はい」

MUR「おっ、ベットの下にエロ本あつたゾ～」

KMR「MURさん勝手にイジっちゃまずいでしょよ

MUR「そうだな（素直）」

TDKR「おまたせ！麦茶しかなかつたけどいいかな

KMR「いただきます」

TDKR「それじゃはじめよっか

メダリンク接続

KMR「先輩達のメダロットってどんなのですか？」

MUR「ポッチャマ」

TDKR「射撃タイプ（大嘘）」

KMR「それじゃあ僕はサポート型にしますね」

TDKR「じゃあさ、ちょっと相手検索するから

MUR「おっ、見つかったみたいだな」

KMR「相手はTDN DB HTNつて人達ですね」

TDKR「犬型とホッケ型と幽霊型か～これもう勝てるかわからんねえな」

ロボトル開始

MUR「よーしぶち込んでやるぜ～」ねらいつち攻撃 レーザー→

→→HTN「ウイヒ！」回避

TDKR「ほらいくど～」がむしゃら攻撃 ソード>>> TDN「

アツー！」右腕破壊 脚部に貫通

KMR「MURさん、いきなりレーザーは当たりませんよ」索敵行

動 レーダー

TDN「オフシ！」選択したパーティは破壊されている

DB「ヴォー」うつ攻撃 ライフル>>> TDKR「ファツ！？」

クリティカル 頭部破壊 機能停止

HTN「ウイーヒ！」隠蔽行動 ステルス

MUR「ちかれた・・・」ねらいうち攻撃 レーザー>>> TDN

「アツアツ・・・」脚部破壊 頭部に貫通 頭部破壊 機能停止

ロボトル終了

MUR「楽しかったゾ～（ご満悦）」

KMR「先輩をリーダー機にしなくてよかったですね」

TDKR「あつ、KMRさ、俺がパーティ手に入れた時チラチラみてたよな？欲しけりややるよ」

KMR「ありがとうございます」

三人は立教トリオに勝利して終了

## 釣りをするの巻

チャイムくん「キーンゴーンカーンゴーン（迫真）」

12:00 学校屋上

TDKR「フウー つかれましたね」

MUR「腹減つたな」

KMR「昼食にしましょう」

MUR「KMRア！今日はなんだ？」

KMR「おにぎり三種とワインナーと玉子焼きですよ

TDKR「あつ、うますづじやーん。1個いただき」

KMR「先輩、行儀悪いですよ」

TDKR「硬いこというなよ～（モグモグ）」

～そんなこんなでご飯を食べ始める3人～

KMR「MURさん、さつきからな見てるんですか？」

MUR「ん？これが、道に落ちてたんだよ」

～そう言つて一冊の雑誌をKMRに差し出す～

KMR「月間、釣りロマン爺ですか」

MUR「そうだよ、おれも釣りしてえな～」

KMR「僕も釣りした事ないんで、興味ありますね」

TDKR「うちにい、釣り道具あるんすけど、夜いきますっ？」

MUR「おつ！いきてえな～」

TDKR「じゃけん、後でいきましちゃうね～」

20:00 釣り場

MUR「暗いな、おいKMRア！足元に気をつけろよ（アドバイス）

KMR「はい」

TDKR「竿が2本しかなかつたけどいいかな？」

KMR「僕は魚アレルギーなので（大嘘）、MURさんどうぞ

MUR「おっ、さうか？よーし釣つてやるぜ～」

「釣りを始めてしばらく沈黙する3人、すると遠くで争ひのような声が聞こえてくる

「？？？「やだ！やだ！小生やだ！ライダー助けて！」

「？？？「誰が大声出していいつつたコラアー！飛び込めよ早くオラア！（腹ライダー・キック）」

「ザッバーン！（迫真）

「？？？「溺れる！溺れる！」

MUR「おっ、引いてるゾ～」

KMR「わあ、MURさん、がんばってください」

MUR「これは大物だゾ～」

「ザッバーン！（迫真）

KMR「針が引っかかるだけでしたね」

MUR「ポツチャマ・・・」

「落ち込むMURを尻目に、今度はTDKRに引きが

TDKR「あーいいよいよいよいよ。大物きてる、はつきりわかんだね」

KMR「MURさん、落ち込んでる場合じゃないですよ。かなりの大物みたいですよ！」

MUR「おっ！TDKRオ、がんばれよ～」

TDKR「（魚）暴れんな！暴れんなよ！」

TDKR「引きスギイ！（竿が）イクイクイクイク！ンアツー！！！」

「ザッバーン！（迫真）

「？？？「ゲホッ！ゲホッ！オエッ！オエッ！ハッハッハッ・・・（

過呼吸）

TDKR「デデドン！（驚愕）」

KMR「小学生・・・？にしては老けてますね」

MUR「海坊主が釣れたな～（♪満悦）」

3人は人命救助して終了

## バイトするの巻 ファミレス編

学校屋上

KMR「TDKR先輩、また遅刻ですね」

MUR「そうだな」

KMR「予想だと、そろそろ来る頃だと思います」

TDKR「KMRの予想通り到着するTDKR」

TDKR「また遅刻しちゃいましたよ～」

KMR「これで893日連續遅刻ですね」

MUR「遅刻大会があれば、優勝だな」

TDKR「ところでMURさん、金欲しくないですか？」

MUR「ほしいな～」

TDKR「ですよね、いいバイトあるんだけど、いかない？」

KMR「ホモビ男優とかじゃないですよね？」

TDKR「ち、ちがうよ、KMRのバカ！」あれだよ、あの、そう

だ、ファミレスのバイト

KMR「ファミレスですか・・・」

MUR「簡単そうだな、やるか～」

TDKR「じやけん、店長に連絡しどくんで、後でいきましょうね

」

ファミレス

TDKR「この2人が連絡しといたMURさんとKMRです」

MUR KMR「よろしくお願いします」

店長「おう、よくきたな、早く着替えるんだよ、早くじゅうよ  
「みうじゅうよ

更衣室

KMR「僕達はなんの仕事をするんですかね？」

TDKR「KMRが厨房で、MURさんがロビーで接客」

MUR「お、そうか」

KMR「厨房ですか・・・。料理覚えといてよかつた

T D K R 「そ、いや 2人ともがんばってね  
～そう告げると去つていいくT D K R～

K M R 「T D K R先輩どこいったんですかね？」

M U R 「さあ、仕事するぞ」

～それぞれが持ち場に就く～

### 厨房

おじさん「なにトロトロやつてんだオラア～（もぐもぐ）」

K M R 「は、はい！ すこません」

おじさん「オラア～もつとスピード上げる～（ゴクゴク）」

K M R 「は、はい！ すこません」

店員Y 「おい！ お前なにやつてんだ！」

K M R 「えつ？ えつ？」

おじさん「やべ（全力逃走）」

店員Y 「またあのおじさんかあ・・・壊れるなあ

K M R 「今のおじさん、従業員じゃないんですね？」

店員Y 「彼ね、よく忍び込んで勝手に飲み食いしてんだよ」

K M R 「えつ、それは（ドン引き）」

その頃ロビーのM U Rは

店員K 「それじゃ、手本見せるから」

M U R 「おつ」

店員K 「お客様、ご注文はお決まりでしょうか？」

客「ぼくひで」

店員K 「かしごまつー！」

店員K 「次は君がやつてみよっか」

M U R 「おつ」

M U R 「お客様、ご注文はお決まりでしょうか？」

客「ねねねね～、なんかオススメつてある？」

MUR「ライス」

客「じゃあ、スープカリード

MUR 「かし」まり!

注文を厨房のKMRに伝える

ムリ - キミアリ! ナリフカリ 1人前

THE SCIENCE

仕事の順序は、人間の筋肉を受けて單に進行する。

居士集卷之三

「アーティストのためのアート」

卷之三

KMR「あのハグストロードダニ、ハメやがつたな……ウソ

-1-(マジック)

MUR「これはゆるせねえなー、そつだろKMRア?」

K M R 「ああ、ぶち殺してやる」

## 野獸邸に乗り込む2人

インターホンくん、ピンポーン！（追真）

妹 - 16 -

お兄さん帰ってきてる?」「

、娘、シバ、部屋で夕べやつる。人て」とお

「OKR」の  
基礎知識

MUFの正尋味とか顔面  
の扉を開けてTOKIOが顔を出した途端  
に炸裂する

〔二輪車〕井手山二号

「ふざけんな」と睨んで、オラア!! (複数態)

TOKR「ンアツ!!ンアツ!!ンアツ!!ンアツ!!ンアツ!!

(氣絶)」

MUR「オラオラ、おねんねするには早いゾ（顔パン）」

TDKR「ぬわあああん勘弁してくださこよおおおおん」  
YJ妹「おいらしねしねーー。（金玉パン）」

TDKR「フアツー？（絶命）」

～ぞやくさに紛れて参加するYJ妹～

KMR「容赦ないな・・・」

MUR「ポッチャマ・・・（恐怖）」

YJ妹「つこやつこやつたけど、ま、ここよね」

TDKRは妹にてダメをされてしまう

## デパートへ行くの巻

チャイムくん「キーンゴーンカーンゴーン!（迫真）」

12:00 学校屋上

TDKR「ぬわあああんつかれたもおおん  
「

KMR「はいはい

MUR「おう、昼飯食おうぜ」

TDKR「ブシコツ！ゴクツゴクツ！ブハツー」

KMR「先輩、学校にビールもつてこないでくださいよ  
「

TDKR「堅いこというなよ～（「ク「ク）」

MUR「おい、KMRア！（唐突）今日の弁当はなんだ？」

KMR「MURさんの好きな、から揚げです」

MUR「いいゾ～これ（「満悦）」

TDKR「から揚げとビール合いスギイ！」

KMR「外で飲み食いするつてのがまたいいですよね  
「

MUR「KMRもわかつてきたじゃねえか」

TDKR「あ、そうだ（唐突）帰りに育毛剤買いに行くんだけど、  
2人もこない？」

KMR「特に予定もないですし、いいですよ

MUR「そうだな（便乗）」

TDKR「じゃけん、帰り寄りましょ～ね～」

19:00 デパート

KMR「育毛剤は医薬品コーナーですかね」

MUR「ついでにガムも買つてくか

～医薬品コーナーでガムと育毛剤を購入する～

KMR「そうだ、今日はジャンプの発売日ですよ

MUR「おっ、忘れてたな」

KMR「本屋寄つてしまよ

～本屋に到着して、しばらく立ち読みをする3人～

KMR「そろそろ、お腹空きましたね」

MUR「そうだな」

TDKR「あ、MURさん、なんかあ地下にい、タダで飯が食える所があるらしいですよ」

MUR「タダで食えるのか?ならいきてえな」

TDKR「じゃけん、いきましょうねー」

19:30 テパ地下

TDKR「い　い　」

KMR「さすがに活氣がありますね」

MUR「おまえら、こっちきてみろ! ウインナー食い放題だゾー」

TDKR「MURさん! こっちにはビールありますよ」

MUR「テパ地下にはなんでもあるな」

KMR「2人共、その辺にしといたほうが・・・」

TDKR「なにいつてんだよKMR、お前も食うんだよ」

TDKRも試食コーナーを食い荒らし始める

? ? ? 「お客さん、そろそろ買ってください、オナシャヤス!」

TDKR「まだ味がよくわからないんだよね、もひちよつと飲ませて」

? ? ? 「食つてばっかいないで買えよオラアー!」

MUR「お兄さん、これすつげーうまいゾー」

? ? ? 「お兄さん?君なかなか見所あるね~(「満悦」もつと食べていよい)

KMR「これ美味しいな・・・。店員さん、これいくりですか?」

? ? ? 「30本(一袋)で5万!」

KMR「1? 5万!?(ブリュリュ・ビチュバチュ・)

驚きのあまり、スープカリーを量産するKMR

KMR「ああ・・・ト、トイレ・・・」

トイレに向かうKMR。そこへ戻つてくる2人

MUR「あれ? KMRど?」といった?」

TDKR「店員さん、KMRしない?」

? ? ? 「KMRって人かわかないけど、ワーッとトイレに向かつてつた人ならいたね」

MUR「一応トイレってみるか

TDKR「ちよつけ、おじつにしたかったんすよ」

トイレへ

MUR「おーいKMRアーいるか?」

TDKR「先輩そつち女子トイレつすよ

MUR「お、そうだな」

TDKR「俺が中見てくるんで、MURさん、適当にフリフリしてくださこよ」

MUR「おつかれませたぞ」

21:00 男子トイレ内

TDKR「KMRアーいたら返事しろー、いないな(ジヨロロロロロロ)」

口)

KMR「せ、先輩! 良いとこひきてくれました」

TDKR「お、どうしたー? (ジヨロロロロロロ)」

KMR「紙がないんで持ってきてもらえますか?」

TDKR「どうすつかなー(ジヨロロロロロロ)」

KMR「先輩! お願いしますよ~」

TDKR「しょうがねえなー、ちよつとまつて(ジヨロロロロロロ)

口)

~小便を済ませ外にでる~

TDKR「さて、なにするんだつたかな(ド忘れ)」

TDKR「そうだ、MURさん探さなきや

~探索する事1時間~

22:00 ペットコーナー

TDKR「MURさん、いんなどこにいたんすか

MUR「お、TDKRオ、お前も見てみるよ、かわいいゾー」

TDKR「なんかもう疲れちゃったし、そろそろ帰りましょウよ」

MUR「やうだな～、そうするか」

22:10 デパート前

TDKR「いやー、今日はいい買い物しましたね」

MUR「タダで飯も食えたしな～」

TDKR「そいじゃ、MURさんまた明日」

MUR「おう、気をつけて帰れよ」

（同時刻）

KMR「おーい・・・」

KMRはトイレで孤立して終了

## 聖夜の裏技

12月24日

TDKR「MURさん、夜中、海いきたくないですか？」  
MUR「いきたくねーなー」

TDKR「じゃけん、明日こきましょつね～」  
KMR「明日は用事があるので、僕は遠慮しちゃいます」

MUR「俺も明日はいけないな（便乗）」

TDKR「デデドン！（绝望）」

畠田 とある屋台

TDKR「おやじ、ビール！ビール！」

糞親父「クリスマスだつてのに、あんちゃん一人か？」

TDKR「皆予定があるとか言ってましたよ グビッグビッグ」

糞親父「そんじゃ、後ろにいる2人はどちらさんだ？」

TDKR「ヌツ？」

「そつと振り返る

MUR KMR「メリークリスマス！」

TDKR「ファツ！？」

「驚いて口から色々飛び出す

KMR「先輩、汚いつす」

MUR「おやじ、俺にもビール！」

糞親父「あいよ」

TDKR「2人とも予定があつたんじゃ？」

KMR「日にちを間違えました」

MUR「俺もそんなところだ（便乗）」

「日本酒が運ばれてくる

MUR「ん～？おやじ！頼んだのはビールだぞ！」

糞親父「そいつあワシのおじりだ」

MUR「お～、そうかー（満悦）今日はとにかく飲むゾー

KMR「僕も付き合いますよ」

TDKR「アオン！オオン！（号泣）」

3人は朝まで飲み明かして終了

聖夜の裏技（後書き）

先輩！これ去年のクリスマスネタですよ！

## 昼食を買いに行くの巻

授業中

TDKR「先輩！この辺に、コンビニあるんですけど、後で昼食買ひに行きませんか？」

MUR「いきてーなー」

TDKR「じゃけん、昼買ひにいきましょうね～」

授業が終わり、教室から出て行く三人。

TDKR「ぬわあああん授業つかれたもおおおん」

KMR「先輩寝てただけじやないすか」

MUR「そうだよ（便乗）」

TDKR「そんなことより飯買ひにいかないとな、ほらいくど～」

TDKRの案内でコンビニへと向かった。

TDKR「ここ」

SNZ「いらっしゃいませ～（マジキチスマイル）」

TDKR「喉乾いた・・・喉渴かない？」

KMR「別に」

TDKR「アイスティーなかつたけどいいかな？」

MUR「ビッククリマンチョコ、いいゾ～これ」

KMR「僕はスープカリーにしよう」

TDKR「どうすつかな～俺もな～（優柔不断）」

SNZ「（なにせつてんだあ～ひり・・・？）」

買い物を終えた三人はコンビニを出でいく。

TDKR「学校にさあ屋上あるんだけど、そこで食べない?  
MUR「おっ、いいな~」

屋上

TDKR「やつぱ外で食べる飯はうまいっすね~」

KMR「そういえば、先輩達お金払いましたか?」

MUR「なんのこったよ(すつとぼナ)」

TDKR「あ、お前さ、KMRさ、さつき俺らが買い物してる時呼  
んでもこなかつたよな?」

TDKR「お前の分も適当に選んでおいたから

KMR「ありがとうございます」

三人は仲良く昼飯を食べて終了

## 水族館に行くの巻

MUR「おい、KMRア！（唐突）水族館にいくゾ」

KMR「どうしたんですか、急に？」

TDKR「これこれ」

（手に持つていた雑誌をKMRに見せる）

KMR「へえ、この辺りに水族館がオープンするんですね」

MUR「ペンギンがいるんだゾ」

TDKR「もちろん、お前もくるよな～？」

KMR「わかりました」

MUR「明日の11時に水族館に集合だゾ」

11：20 水族館前

MUR「TDKRの奴遅いな、もう20分も過ぎてるぞ（憤怒）」

KMR「そうですね・・・、先に入つて見てましょつか」

MUR「そうすっか！」

（そう言って、入館する2人）

MUR「KMRア！、見てみろよ、海草がいっぱいだゾ！」

KMR「MURさん、魚見てくださいよ」

MUR「こつちにはカニがいるゾ、うまそうだな～」

（しばらく進むと、遅刻していたはずのTDKRを見つける）

KMR「あ！TDKR先輩！」

（その声に気づいたTDKRがこちらに向かってくる）

TDKR「2人とも、遅いつすよ～、」

MUR「遅刻したのはお前だろ（憤怒）」

TDKR「なにいつてんすか、中で待つても2人共こないから、一通り見て回つちゃいましたよ」

MUR「おつ、そうか（納得）」

（TDKRを加えた一行は再び館内を回り始める）

MUR「ちかれた・・・（小声）」

KMR「MURさん、ちょっと休憩しましょ」

MUR「そうだな」

KMR「どこか休憩できる場所ありますかね」

TDKR「そういえば、あの辺に、ラーメン屋ありましたよ」

KMR「先輩、案内してくださいよ」

「レストランへ向かう一行」

TDKR「こ こ」

MUR「ふう、ようやく一息つけるゾー」

KMR「結構歩きましたもんね」

???「お客さん、ご注文は？」

MUR「どり濃厚とんこつラーメンとビール」

KMR「僕はカレーラーメンとウーロン茶で」

TDKR「どうすつかな～俺もな～（優柔不断）」

「10分後」

MUR「おい、TDKRオー、はやく決めるよ」

TDKR「わかりましたよー、じゃあテ丼とアイスティーで

???「かしこまり！」

KMR「（テ丼ってなんだよ・・・）」

TDKR「あ、そうだ、MURさん！入り口から辺に記念メダル作る機械ありましたよ」

MUR「いいなーソレ」

TDKR「じゃけん、飯食つたらこましそうね～」

「注文した料理が運ばれてくる」

MUR「うまそ～」

KMR「いただきます」

TDKR「なんだこの料理！（絶望）」

MUR「お兄さん、うまいぞ～これ」

???「ありがとナス！」

「全員が食事を終えて」

MUR「よーし、そろそろいくか～」

KMR「メダル作りにいくんでしたよね、先輩、案内おねがいします」

す

「メダルを作りに向かう一行」

TDKR「こ こ」

MUR「どうなつてんだこれ～？KMR、まかせた」

KMR「はい、・・・なにか数字を入力しないといけないみたいですね」

TDKR「適当に114514でいいで」

KMR「わかりました、ピピビツ！、・・・できましたよ」

MUR「お、首からさげてみると、なんか優勝した気分だな～（ご満悦）」

TDKR「MURさん似合つてますよ（意味深）」

「すると館内に神の声が響き渡る」

アナウンス君「そろそろ閉館するんで～、ワーッて用事すませてパパッと出でつてオワリ！」

KMR「もうそんな時間なんですね」

MUR「あつという間だったな～」

KMR「お土産買つて帰りましょうか」

19：30 水族館前

MUR「今日は楽しかったゾ～（ご満悦）」

KMR「たまにはこういう所も良いですね」

TDKR「なんか腹減ったなあ～、これから寿司食いにいきません？」

MUR「よーし、行くか～」

KMR「先輩達がおじつでくださ～よ（半笑い）」

TDKR「しょうがねえな～、ほらこへど～」

MURは目的を忘れて、寿司を食べに行き終了

## 遠足に行くの巻

TDKR「MURさん、なんか外で飯食いたくないすか？」  
MUR「くいてーなー」

TDKR「じゃけん、明日遠足いきましょうね～」

翌日

KMR「（先輩達、時間通りにくるのかな・・・）」  
「不安に思いつつ、集合場所に到着するKMR」

MUR「おうKMRア！、時間ピッタリだな」

KMR「あっ、MURさん一番乗りですか」

MUR「遅刻するといけないからな、ここで寝てたんだゾ～」

KMR「えつ」

「そんなこんなでTDKRが到着」

TDKR「おまたせ！」

MUR「おひ」

KMR「皆揃いましたね、それじゃあ・・・」TDKR「ほらこくど～！」

30分後

TDKR「ぬわああんつかれたもおおおん」

KMR「そろそろお弁当にしまじょうか」

MUR「いいゾ～景色」

KMR「ところで、先輩達なに持つてきました？」

MUR「ポテチとビッククリマンチョコとうまい棒（なつとう味）」

TDKR「家にビールしかなかつたけど、ま、いいよね」

KMR「そうくると思つて、僕がお弁当作つてきましたよ

MUR「おっ、KMRえらいゾ、ビールは冷えてるか～？」

TDKR「ばつちえ、クーラーボックスにいれてくれましたよ

MUR「2人とも気が利くな～（ご満悦）」

帰りの道中

KMR「やうだ、MURさん、やつそのチヨンからキラキラしたシールがでてきましたよ」

MUR「いいな～それ」

KMR「僕には必要ないんで、MURさんどうぞ」

MUR「おっ、やつか～？ わるいな～（♪満悦）」

MURは欲しかったシールを手に入れて終了

## 肝試しの巻

KMR「MURさん、最近、校門前に幽霊がでるらしいですよ」

MUR「おっ、そうか」

KMR「後でTDKR先輩も誘つていきましょ」

MUR「面白そうだし、いいゾー」

「そんな話をしていると、TDKRが登校してくれる」

TDKR「ぬあああん遅刻したもおおおん」

KMR「先輩、おはよー」

MUR「おう」

TDKR「なんか2人して楽しそうじゃーん」

KMR「今、肝試しの話してたんですよ」

MUR「そうだよ（便乗）」

KMR「先輩もいきましょ」

TDKR「KMRから誘つてくれるなんて珍しいな（”満悦）」

KMR「じゃあ、22時に校門前に集合しましょ」

22:00 校門前

KMR「先輩達、遅いな～」

? ? ? 「おい」

KMR「先輩！遅いですよ・・・って、アレ？誰もいない・・・」

? ? ? 「後ろだよ、オウ」

KMR「後ろ？・・・うわああああああーーー（ブリュリュリューバ

チュバチュー！）

「スープカリーを生産しながら逃走」

23:15 校門前

MUR「おや、誰もいないゾ？」

? ? ? 「おい」

MUR「おっ、なんだなんだ？」

? ? ? 「後ろだよ、オウ」

MUR 「後ろ・・・？ボ、ボッチャヤマ（失神）」

10:00

野獣邸

TDKR 「ファツ！？（起床）」

TDKRは寝すごしてしまい終了

保健室へ行くの巻

TDKR 「デデドン！」（ノック音）

TRIZ-TOOL(無関心)」

→保険室へ順番に入つていいく

MUR - 今田のテスト全然わからなかつたゾ

丁度KFR-KMRはいいよな」「頭いいもんない

「最後尾を走らせて、MRが、なーが

KMR「ん? なんだろ? ... これは!、TRN先生! 誰か倒れて

ໜ້າ

TRIZ 「心」・・・(無関心)」

卷之三

KMR「おへ、せうが、じやないですよ！死んでるなら警察に連絡

しないと

MUR 「おーKMRAー！ 警察に連絡しろ（アドバイス）」

その時、勢いよくドアが開いた

カニカマ、カジヤーン！（破壊）

「アーティストの心」

K M R 「 S N J 先生！人が死んでるんですね」

TDKR 「あ、MURさ、後で寿司食いにいかない?」

MUR 「おつ、そうだな」

SNJ 「俺も仲間にいれてくれよ」（マジキチスマイル）

K M R - ああああああああああああああああああああああああああ

KMRは精神が崩壊して終了

## 焼肉屋に行くの巻

チャイムくん「キーンー・コーンー・カーンー・コーンー（迫真）」

学校屋上

MUR「腹減つたなあ～」

TDKR「あ、MURさ、腹減つてるよね？」

MUR「おっ、よくわかったな」

TDKR「ですよね。近くの焼肉屋にうまいビールあるひじいんですけど、飲んでかない？」

MUR「おっ、いいゾ～」

KMR「先輩！昼間からビールはマズいですよ」

TDKR「バ lenaきや、へーきへーか」

MUR「そうだよ（便乗）」

TDKR「じゃけん、KMRも連れていきまじょうね～」

焼肉屋

店員「いらっしゃいませ（マジキチスマイル）」「マジキチスマイル」

TDKR「三人ね」

店員「こちらのお席へどうぞ（マジキチスマイル）」

TDKR「先輩なに食べます？？」

MUR「ホルモン」

KMR「僕はタン塩で」

TDKR「どうすつかな～おれもな～（優柔不断）」

店員「ねねねね～、注文決ました？（マジキチスマイル）」

TDKR「ビール！ビール！」

MUR「タン塩と冷奴とホルモンとポッチャマ」

店員「すぐ持ってきます（マジキチスマイル）」

？？？「やだ！小生焼けてるのじゃなきゃやだ！」

？？？「誰がわがままいつていいいつつたオラア！？生肉食べるんだよオラア！？」

？？？「オエエ！ゲホッ！ゲホッ！オエエエ！？」

？？？「その辺にしといてやれよオラアアアン」「？」

？？？「こいつが言う事きかないもんだからねえ～？」

？？？「おう、ならもっとやつていいぞ。はやくしろよ」「？」

？？？「やだ！ライダー助けて！」

？？？「誰が店で大声出していいつつたよー？」（大声）

TDKR「なんか隣がうるわこりますね」

MUR「そうだな」

KMR「家族連れなんですよ、きつと」

店員「お待ちどうさま！（マジキチスマイル）」

TDKR「ひやー、うまそーー」

MUR「おい、KMRア！（唐突）、肉焼け」

KMR「わかりましたよ」

ジュー！ジュー！（迫真）

～食べ始める～

TDKR「アツ！アツ！アツ！アツウエー！」

MUR「ホツ！ホア！ホアツ！アツ！」

KMR「二人ともゆっくり食べましょーよ」

TDKR「そんな事してたら冷めるだろー？」

MUR「ホア！アツウ！ホツホツホツ！」

TDKR「あ！MURさん、それ俺が焼いてたんすよ

MUR「おつ、そつか」

KMR「まあまあ、お肉ならまだありますからね」

TDKR「焼けたかな？焼けてないな（確認）」

KMR「そんなに頻繁に裏返しちゃダメですよー！」

～食事を終えて～

MUR「そろそろ、吐きそうだゾ～」

TDKR「じゃ、かえろっか

KMR「わづですね」

～お会計に向かう～

店員「お会計は114514円になります」

TDKR「あ、店員や、わづき他の店員の股間にチラチラ触つてただる」

MUR「そうだよ（便乗）」

店員「なんの事でしようか？」

MUR「（詫惋の動画）見たけりや見せてやるよ（震え声）」

店員「お会計は結構ですよ（マジキチスマイル）」

MUR「お、そつか～？悪いな～」

TDKR「じゃけん、お吉葉に甘えましょ～ね～」

3人はタダで焼肉を食べて終了

## 空飛ぶMUR大先輩

MUR「おい、KMRア！（唐突）、「」飯まだか？」

KMR「さつき食べましたよ」

MUR「おっ、そうだな」

MUR「おい、KMRア！（唐突）、「」飯まだか？」

KMR「三日前に食べましたよ」

MUR「おっ、そうだったな」

TDKR「あれ？ MURは？」

KMR「死にました」

MUR「そうだよ（便乗）」

TDKR「ファツー？（氣絶）」

KMR「どうしたんですか先輩？」

MUR「おい、KMRア！見てみろよおれ空飛んでるゾ～（」満

悦）」

MURは帰らぬ人となつて終了

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2157ba/>

---

空手部の日常

2012年1月10日21時52分発行